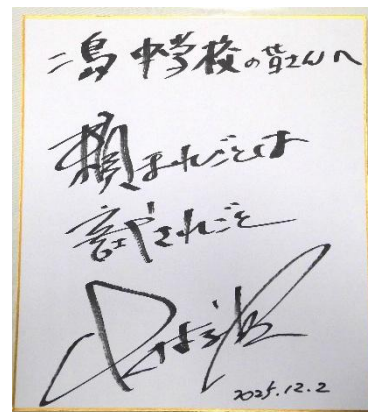


中村文昭さんがやってきました

二島中学校の生徒の皆さん、保護者の皆様、校長の児島です。12月2日（火）、中村文昭さんがキャリア講演会のためにやってきました。中村さんは有限会社クロフネカンパニー代表取締役社長で、全国的にも有名な実業家、講演家、メンタルトレーナーなのでご存じの方も多いかと思います。私は平成28年に初めて中村さんのお話を聞きました。その時に感じたエネルギーと情熱を皆さんにも共有してもらいたくて今回の講演会を企画しました。中村さんは7年前にも二島中に来られていますので、その時に在校生だった皆さんの家族もいるかと思っています。私も講演を聞くのは4回目で、同じ話もずいぶんあるのですが、聞かたびに考えさせられたり、ハッとさせられることが多く、いつももっと聞きたい、いろいろなお話を聞きたい、と思います。

○ 「頼まれごととは試されごと」

講演が終わった後、校長室で中村さんに色紙を書かせていただきました。そこには、中村さんの名言「頼まれごととは、試されごと」が書かれています。その意味について、自分なりに中村さんのこの名言について、まとめてみようと思います。中村さんは、自分を飲食業界に導いて、ビジネスのイロハを教えてくれた「師匠」の話をよくされますが、その師匠の教えの中で自分の人生を変えた一言として、この「頼まれごととは試されごと」を挙げられます。中村さんは修行中、師匠から頼まれたことを引き受け、こなしていくうちにあることに気づきます。



それは、「できないことは頼まれない」ということです。人にものを頼まれたとき、自分にメリットがあれば誰でも引き受けますが、メリットがないからこそ引き受けるべきで、それは人を喜ばせるチャンスだと思って、全力でやることを心がける、ということです。人から頼まれたら、「あなたの予想を上回ります」を続ければ、頼んだ人は、必ず喜んでくれるし、そのうち大きな仕事も任せられるようになる、ということだと感じました。さて、皆さんはどのように感じたでしょうか。

○ 命の大切さについて ～徳力マクドナルドの事件から間もなく1年～

小倉南区で当時、中学校3年生だった女子生徒が、見知らぬ男性に突然、刃物で腹部を刺されて亡くなり、一緒にいた同級生の男子生徒も腰を刺され重傷を負った日からまもなく1年になります。皆さんには、折りに触れてこの事件について、そして「命の大切さ」について伝えてきましたが、1年を迎えるにあたって、この事件を風化させないためにも、改めて考えてみようと思います。

「命」とは、自分だけのものではありません。家族、仲間、周りの人々、色々な人達から支えられているものなのです。この世界の全ての人々の「命」が、一つ一つかけがえのない、両親から贈られた大切な宝物なのです。当たり前で明日がやってくることが、どんなに幸せなことか。今日、一緒に喜び、悲しみ、楽しみ、笑い合える家族や仲間がいることがどれだけ素晴らしいことか。一人一人が今を生きられていることに感謝し、周りの人々を思いやる気持ちを忘れずに、自分の事も、相手の事も大切に思いやりをもって生ける社会が、ここ二島中から少しずつでも広がっていけばと思います。